

# グローバル生産管理システム導入に向けての教育アプローチ システムを使いこなす！

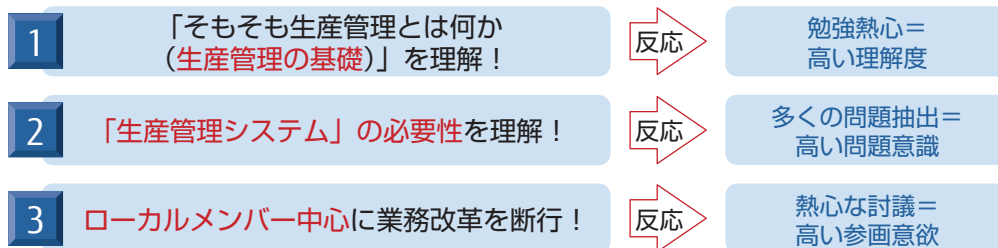
## 使われない生産管理システム

海外現地法人でのシステム導入にあたり、日本で実績のあるシステムをそのまま持ち込み、早期導入・安定稼働をねらう企業が多いのではないのでしょうか？ しかし、実際のところ、日本で実績のあるシステムを海外に展開しても、現地ではシステムを十分活用できていないということをよく聞きます。システム導入を成功に結びつけるためには、システムを活用するローカルメンバーが中心となり、その必要性を理解し、自らが改善・改革活動を行うことが必要です。そのために、ローカルメンバーの業務理解度向上とシステム活用の必要性を理解した上で、業務改善・改革に繋げて行くアプローチが必要と考えます。



## 生産管理システム導入に向けての教育概要

- ①本サービスは、『生産管理の基礎』、『理解度テスト』、『教育アンケート』を使用します。『生産管理の基礎』では生産管理に関する体系的な内容をベースとしています。生産管理業務に関する体系的な知識を修得することを目標として学習を行い、本学習によって、個人の生産管理知識スキルを向上させ、学習成果を実業務へ活用することが望まれます。
- ②更に学習効果を高めるために理解度テストを行い、テスト結果を基に個人で学習の振り返りを行うことができます。
- ③アンケートにより学習して気づいた現状の業務課題を抽出します。抽出した業務課題を解決するためのテーマを設定し、改善活動実行計画のご支援を行います。



## 『生産管理の基礎習得セミナー』内容（一部抜粋）

生産管理の基礎習得セミナーでは、基本として以下の3つの項目について学習します。

### ①生産管理の概要

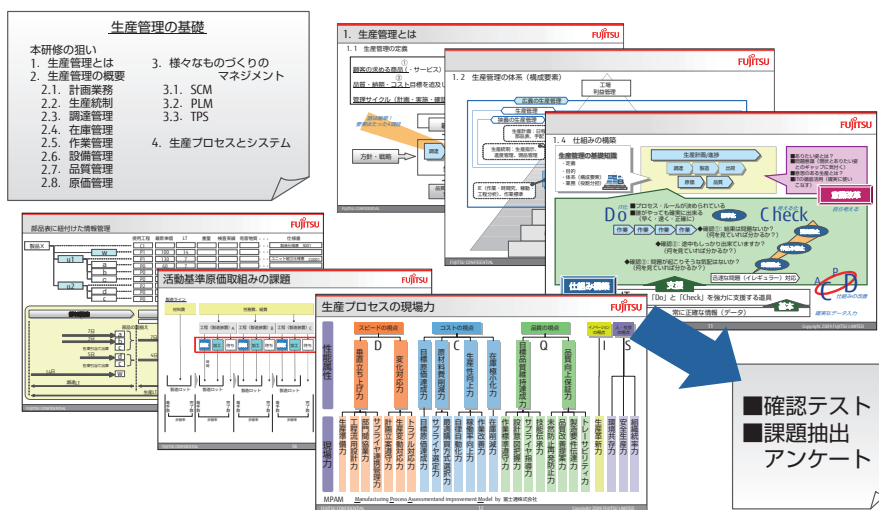
生産計画、生産統制、品質管理、調達管理、原価管理などの一般知識を講義にて学習します。

### ②ものづくりのマネジメント

マネジメント手法として特徴のある、SCM、PLM、TPS（\*）について講義にて学習します。

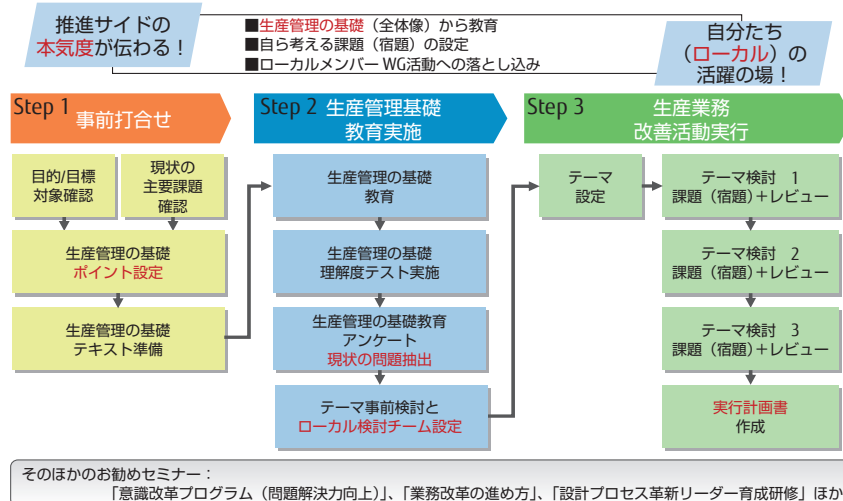
### ③生産プロセスとシステム

生産プロセス全体の物と情報の流れと、それを支える情報システムの関連を講義にて学習します。



## 『生産管理の基礎習得セミナー』進め方イメージ

本セミナーの進め方は以下のとおりです。推進者の意図するものを教育に取り込むことで、教育を気づきの場として捉え、改善活動につなげて行くことによって、ローカルの主体性を醸成させていきます。



(\*) SCM:Supply Chain Management PLM:Product Lifecycle Management TPS:Toyota Production System

### お問い合わせ先

#### 株式会社 富士通総研

第2コンサルティング本部 ビジネスプロセスソリューション事業部

〒105-0022 東京都港区海岸1-16-1ニューピア竹芝サウスタワー TEL:03-5401-8393

<http://jp.fujitsu.com/group/fri/>